



新型コロナウイルス対策関連 補正予算などを可決

第4回 定例会

出産・子育て応援事業関連補正予算を可決

第2回臨時会



議決内容

賛成多数 賛成＝良民、公明、立憲、共産、生革、新風、減税、
 虹、世田谷、あたら、都下、国際、区守会、無所属
 反対＝行革

世田谷区は昨年、区制施行90周年を迎えました。長い歴史を刻む中で約92万もの人口を擁する魅力ある自治体へと成長と発展を遂げてまいりました。今後も世田谷の明るい未来の実現に向

また、区民生活に大きな打撃を与えている物価高騰や円安への対応においては、家計急変世帯に対する区独自の乗せ給付や介護などの福祉サービス

挙運動公費負担条例
(全員賛成)

まいる所存です。

○公園条例

(全員賛成)

上北沢しゃりん公園（上北沢1-5-3）を新設する。

ページへ続く

会派名等

自民自由民主党世田谷区議団

公明党世田谷区議団

立憲二世田谷立憲民主党区議団

F行革11無所屬・世田谷行革110番・維新

共産党日本共産党世田谷区議団

生 産者ネットワーク世代 田谷区議団

新風・せたかやの風

工 洞 税 川 洞 税 セ タ カ ヤ

虹
川
レインボー世田谷

世田谷
世田谷
世田谷

世田谷川世田谷無所屬

あーたーのclaggyはあーたー
ワァーの民ワァーの会

者、一都巨一ホトの会
祭一都巨一ホトの会
国一都巨一ホトの会

区守会
区民を守る会

國守を以て國民を守るを
無所属、無所屬

舞戸属 | 舞戸属

公職選挙法の規定により、議員の

寄附行為や時候のあいさつ状など

令和5年(2023年)年頭に当たって

議員の連絡先は
令和4年12月23日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとございます。皆様には、日ごろから多大なるご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症や物価高・資源高騰などにより、皆様のお仕事や生活に少なくない影響が生じていることと思います。

我々、自由民主党世田谷区議団は、そうした目下の課題に全力で取り組むとともに、世田谷がより住みよい街となるよう各種施策の推進に尽力してまいります。具体的に、以下の取り組みを進めてまいります。

●物価高・資源高騰への対応、新型コロナウイルス感染症対策を強化し、区民の生活を守ります。



阿久津 皇
〒157-0073
砧8-2-24
☎080-3464-2911



石川 ナオミ
〒156-0056
八幡山3-23-26-102
☎5942-1285



おぎの けんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
☎090-4599-8946



加藤 たいき
〒154-0017
世田谷1-28-13-202
☎6674-2391



上島 よしもり
〒156-0052
経堂1-21-16-3F
☎6356-4344



河野 俊弘
〒154-0023
若林1-16-1-700
☎6805-4054



宍戸 三郎
〒156-0043
松原3-42-2-4F
☎3323-7223



下山 芳男
〒154-0011
上馬4-2-5
☎3418-2869



菅沼 つとむ
〒154-0015
桜新町1-14-18
☎3428-2161



山 晋一
〒156-0041
大原1-16-3-112
☎3466-7005



真鍋 よしゆき
〒157-0063
粕谷4-20-18-206
☎3300-3940



山口 ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
☎3702-1819



和田 ひでとし
〒158-0083
奥沢1-40-2
☎3720-3542

①区民生活の支援強化(せたがやPayによる対策をはじめ、物価高騰から暮らしを守ります。)

②地域経済の活性化(区内事業者への経営支援、区内における起業・創業支援策を拡充します。)

③就労・起業支援(学び直しを応援するとともに、職住近接が可能な環境をつくります。)

④感染症対策の強化(保健所機能の強化とともに、医療機関への支援を充実します。)

⑤行政サービスのDX推進(各種手続きのオンライン化等、非来庁型行政を早期に実現します。)

●生涯を通じたニーズにきめ細かく対応し、健やかに生活できる環境を整備します。

①スポーツ・文化の推進(スポーツの場の拡充、音楽や演劇等の文化活動を充実させます。)

②健康・長寿の推進(23区トップの健康長寿を目指します。)

③妊娠・出産・育児支援(出産一

時金の助成、子育て利用券の拡充等、産前産後のトータルな子育て支援を推進します。)

④結婚・家族支援(結婚希望未婚者への支援、結婚後も住み続けられる世田谷を目指します。)

⑤障がい児・障がい者施策の推進(個人の特性に応じた支援を充実します。)

●生活を支える都市基盤の整備や、安全・安心な街づくりを進めます。

①都市基盤整備の推進(狭隘道路・開かずの踏切解消など、「世田谷の弱点」を克服します。)

②防犯・交通安全対策の強化(特殊詐欺対策をはじめ、安全・安心な暮らしを守ります。)

③災害対策の強化(首都直下地震や大型台風等の到来に対し、万全な備えを構築します。)

④学校改革の加速(災害時の避難所にもなる学校の改革を年3校ペースに加速させます。)

⑤みどりの保全(美しい自然を守り、未来に継承します。)



日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとございます。

今年の4月は区長・区議会議員選挙です。岸田政権の軍事費倍増は戦争への道です。憲法9条を守り、外交による平和をつくります。日本共産党は、コロナや物価高



江口 じゅん子
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
☎080-5383-0848



たかじょう 訓子
〒157-0062
南鳥山2-8-2-104
☎090-6655-2003



中里 光夫
〒155-0033
代田4-33-1
☎090-4367-3294

生活者ネットワーク 世田谷区議団

あけましておめでとございます。

今年こそは、コロナを乗り越え、マスクを外し皆さまとの交流を深め、生活者の声を区政に反映するため前進する年にしたいと思います。

気候危機は、豪雨や熱波になり私たちの命まで脅かしています。今こそ自然再生可能エネルギーの活用促進が必要です。ごみの分別を進め、みずとみどりを守ります。

子育て・介護・障がい者支援など地域福祉を充実させます。子ども

の権利が尊重され、社会の格差や分断を無くし、女性がらしく生きられるための政治を目指します。

今年もよろしくお願いたします。



金井 えり子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
☎3420-0737



高岡 じゅん子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
☎3420-0737



田中 みち子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
☎3420-0737

新風・ せたがやの風

新年を迎えました。私たちはコロナ禍の中、心が晴れず、すっきりとしない毎日を暮らしています。これを新しい生活様式というのでしょうか。でも私たちは、どのような状況の中でも、希望を持ち、元気に明るく、笑い声の絶えない地域社会で安心して暮らしたい、そのためにできる限りのことをしてまいります。今年も皆様に幸多かれとお祈りいたします。



小泉 たま子
〒157-0068
宇奈根3-14-28
☎3415-0305



つるみ けんご
〒154-0003
野沢4-14-4
☎6322-0575

減税せたがや

ぶれない！ひよらない！「元祖世田谷改革」今年も区役所や議会のムダ遣いを許さず、「勇気」を持ってあなたの知りたいに伝え、サリリーマン、経営者、女性、若者、高齢者の声を区政に届けます！



あべ りか也
〒157-0076
岡本1-38-14-306
☎3412-1021



世田谷無所属

謹賀新年 コロナ対策・自転車の安全利用・図書館・高齢者施策・保育・教育等、本年も区民の皆様



ひうち ゆい子
〒155-0033
代田3-26-6-305
☎6691-4985

Setagaya た

謹賀新年。おめでとございます。本年も、世田谷区において必要な区政改革、少子化対策や財政の見える化、気候変動対策などの政策の実現に全力で取り組みます。その先の世田谷にむけて



佐藤 美樹
〒156-0045
桜上水4-18-25
☎6379-8300

都民 ファーストの会

コロナに物価高騰も加わり激変の時代に入りました。明るい未来は昭和の延長ではなく生き残るには変化するしかありません。IT出身・最年少議員だからこそ今を好機と捉え大改革を進めて参ります。



そのべ せいや
〒158-0097
用賀3-25-18
☎090-6939-7273

明けましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。日頃より、公明党への温かなご支援に、心より感謝申し上げます。区制施行90周年を迎え、区の発展に貢献された区民、団体の皆さまに心より感謝申し上げます。さて、4年目を迎える新型コロナウイルス感染症との暮らしは、一日も早い収束を願う中、この間、エッセンシャルワーカーをはじめ、区民の皆さまの協力のおかげで、新しい年を迎えることができました。その一方、世界の経済状況が大きく変化し、区民の暮らしを守る責務が政治に問われていることを痛感しております。引き続き、感染症対策と併せて、物価高騰対策を間断なく進めながら、誰一人取り残さず安心して暮らせる社会

の構築に向けて以下取り組んで参ります。①未来への投資として、学校給食の完全無償化と新BOP学習クラブの開設時間の延長。②物価高騰対策として、支援の薄かった世帯に対して区独自の支援策の推進として「せたがやPay」の機能拡充により、恩恵の裾野を広げていきます。更に、世田谷版マイナポイントとの連結で重層的な地域経済型支援へ拡充。③行政改革は、新公会計制度の導入で、重複事業の統廃合や公有財産の有効活用による、税金依存体質からの脱却と区民サービスの向上。④災害対策として、在宅避難の後押しとなる災害対応型住宅整備補助制度の創設、Jアラート発令時に対処できるよう公共施設のシェルター化の推進。⑤健康寿命延伸として、介護保険未利用者へのキャッシュバック制度の導入。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



河村 みどり
〒157-0061
北鳥山8-2-16-104
☎3307-4884



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
☎3427-0557



いたい ひとし
〒158-0087
玉堤1-16-28
☎090-3964-1419



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
☎3327-0443



佐藤 ひろと
〒157-0071
千歳台3-21-14
☎3482-7732



福田 たえ美
〒158-0094
玉川3-21-3-401
☎5797-9825



平塚 けいじ
〒154-0022
梅丘2-8-9
☎3420-0240



上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
☎5787-6162



田中 優子
〒156-0043
松原4-34-20-309
☎3322-8131



大庭 正明
〒157-0063
粕谷3-15-3
☎3307-1179



桃野 芳文
〒157-0066
成城4-33-2-202
☎6751-1781



ひえしま すすむ
〒156-0055
船橋5-14-7
☎080-4806-9024



上川 あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
☎5799-7765

無所属・世田谷 行革110番・維新

迎春。私たちは税金の無駄遣い、行政の不正などをただす旗のもとに結集した、大庭正明、田中優子、桃野芳文、ひえしま進、の4名からなる交渉会派です。頻繁な著書の出版、1日に数十回にも及ぶツイッター投稿などの政治パフォーマンスにかまける一方で、区の主要事業のうち成果指

世田谷立憲 民主党区議団

新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行がいまだ収束を見ない中、物価上昇と賃金の低迷、増税・社会保障費の負担増など区民生活は依然厳しい状況に置かれています。弱体化した地域コミュニティの再構築も急務となっています。住民福祉と生活向上に資する財源確保のため一層、行財政改革をたゆまず推進していくことが必要です。本年も会派一丸となり以下の政策を柱に、区政の基盤となる住民自治と地域経済の発展に全力をあげてまいります。

- 歳入増・歳出削減の行政改革(ふるさと納税対策、税外収入の増加、DX推進による効率化など)
- チルドレン・ファーストの社会の実現(インクルーシブ教育の推

進、理由を問わない一時保育の拡充、給食費完全無償化の実施など

- 地域共生社会を支える福祉サービスの構築(障害者グループホームの増設、認知症・家族介護者支援、医療的ケア児者の支援など)
- 持続可能で安心できる世田谷の実現(地震・風水害対策の充実、



桜井 純子
〒157-0062
南鳥山5-10-5-301
☎3326-1321



いそだ 久美子
〒157-0066
成城6-16-12-303
☎070-4075-6458



中山 みずほ
〒154-0015
桜新町1-25-25
☎080-4634-2547



中村 公太郎
〒158-0081
深沢3-26-4
☎090-4840-8877



中塚 さちよ
〒156-0054
桜丘2-18-16-701
☎3429-6078



藤井 まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
☎080-1085-3624



羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-6-22
☎3702-3550

環境・気候変動・エネルギー対策の推進、区内労働環境の改善など

本年は区議会改選の年となります。これまで掲げてきた政策の進捗について評価と総括を行うとともに、さらに前進させるよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願いたします。

世田谷 レインボー



迎春。一人会派の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果が上げられます。本当に困っている人ほど声を上げることが難しい。マイノリティだった体験を伸びやかに暮らせる社会づくりに活かします。



青空 こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
☎3485-2726



くりはら 博之
〒154-0017
世田谷4-26-10-101
☎090-4208-1218



神尾 りさ
〒154-0003
野沢2-8-1
☎080-3354-4648

区民を守る会

迎春。区民を守る会は、誰もが安心して暮らせる町の実現を目指し、NHKから皆様を守る活動に加え、特殊詐欺等の犯罪行為や、新型コロナウイルス、自然災害に対する施策の強化に取り組みます。

世国た際が都市

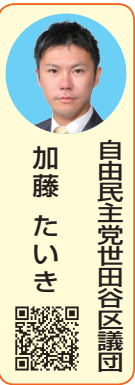
迎春。今年の干支「癸卯」は、物事の始まりと終わりを意味します。区の基本計画は10年目の最終年度を迎え、次期計画の検討も始まりました。皆が元気で心豊かに暮らせる街になるよう頑張ります。

無所属

迎春。本年も、子どもが輝き、認知症の方が自分らしく暮らせる世田谷の実現に向け尽力します。また保護司や民生児童委員を初め、日々地域を支えている方々を応援する取組みを推進していきます。

代 表 質 問

11月28日の本会議で、4名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議団
加藤 たいき



5年度予算編成に係る区長の姿勢

質問 場当たり的な施策を進める現区政に持続可能な世田谷を築けるのか不安が募る。区長は区の未来をどう描き実現に向けてどのような視点で予算を編成していくのか。

区長 中長期的な需要にも確実に対応する視点で予算編成に臨む。将来にわたる財政規律の維持

質問 区長の総花的な予算編成が財政規模の肥大化を招き、将来に重いツケを残すことを懸念する。幅広い視点から事業の新設や存廃を判断し財政規律の維持に努めよ。

区長 財源を的確に配分し将来を見据えて財政規律の維持に努める。給食費無償化への教育長の認識

質問 区長は20億もの追加財源を伴う給食費無償化に言及したが学校の維持更新には9年度から10年で88億円が必要だ。教育長はそれでも無償化が最優先と考えるのか。

教育長 教育委員会として学校現場の課題を整理し適切に対応する。出産費用の実質無償化の推進

質問 少子化対策こそ将来の日本のために必要な政策であり、出産費用の実質無償化は喫緊の課題だ。第三子以降が対象の出産費助成を増額し、第一子から適用せよ。

副区長 国の出産育児一時金の増額などを勘案し、検討を進める。DX推進の加速化

質問 区役所に来なくても様々な手続が行える非来庁型行政の実現など、区民サービスの変革にはDX推進が不可欠だ。区は他区に後れを取る中、どう挽回を図るのか。

副区長 将来像の実現に向け試行錯誤を重ね実績を積み上げていく。退職自衛官の危機管理監への配置

質問 我々は災害対策に精通した退職自衛官を危機管理監として配置するよう強く求めてきたが、進展が見られない。近年甚大化する災害の脅威に鑑み早急に配置せよ。

副区長 6年度からの危機管理監の設置について現在検討している。スポーツに親しむための環境整備

質問 92万区民に対しサッカー場が8面しかないなど区は他区と比べスポーツ施設不足が深刻だ。生涯スポーツ社会の実現に向け身近な地域で運動できる場を整備せよ。

スポーツ推進部長 民間保有施設の区民利用に向けた検討を進める。高齢者へのスポーツジム利用促進

質問 民間スポーツジムは高齢者の健康増進をはじめ新たなコミュニティづくりにも資する有効な資源だ。利用料補助などを検討し、高齢者のジム利用を一層促進せよ。

生活文化政策部長 高齢者のニーズを把握し、具体の検討を進める。バス路線の維持に向けた方策

質問 コロナ禍や燃料費高騰でバス事業者の経営は深刻な状況だ。バス路線維持に向け、事業者との意見交換の場を設けるとともに積極的に区民へバス利用をPRせよ。

道路・交通計画部長 意見交換の機会の創出やバスの利用促進に取り組む。南北交通を担うバス路線の拡充

質問 京王線連立事業や自由が丘再開発に伴い区内交通の改善が期待される。これを踏まえ区民の意願である区の南北を結ぶバス路線の拡充を事業者に一層働きかけよ。

道路・交通計画部長 バス路線の拡充に向けた取組を進めていく。校庭の人工芝化のモデル実施

副区長 子どもの活動の場の拡充に向け全天候型の人工芝を校庭に導入すべきだ。まずは校庭の狭い学校を対象に、環境に優しい人工芝を用いて速やかにモデル実施せよ。

教育総務部長 校庭整備に際し、モデル事業の実施を検討していく。子どものSOSを逃さない仕組み

質問 区のいじめ認知件数は全国平均と比べ著しく低い子どもを守る体制構築には万全を期すべきだ。タブレットから学校や教育委員会にSOSを出せる環境を築け。

教育政策部長 提案の直接相談できる仕組みの構築を検討していく。せたがやベイによる物価高騰対策

質問 セタがやベイポイント還元キャンペーンは物価高騰対策として大変好評であったが、短期で終了した。区民生活がいまだ厳しい中、恒常的な事業として実施せよ。

経済産業部長 継続的に中小個店へ消費を誘導する施策を検討する。学校給食費の完全無償化の実現

質問 我が党は、教育費における保護者への負担軽減として給食費完全無償化を求めてきた。今こそ区長は5年度実施に向け決断せよ。

区長 5年度に何らかの方法で実現できるよう検討を進めている。高齢者住宅確保策の更なる推進

質問 高齢化が進む中、住宅確保要配慮者は今後より増えることが懸念される。新たな高齢者住宅の確保や家賃助成の実施など、積極的に住まいの確保策を推進せよ。

副区長 区営住宅の単身者戸数を増やすなど様々な手法で進める。私立幼稚園教諭への支援策の拡充

質問 私立幼稚園教諭はサービス残業が常態化するなど労働環境が厳しい。区は人材の確保定着に向け家賃の全額又は一部を補助する宿舍借り上げ支援事業を実施せよ。

子ども・若者部長 国や都の動向なども踏まえ人材確保支援を検討する。区独自の介護職員奨学金返還事業

質問 介護職への希望者を増やすためには、処遇の改善が急務だ。低賃金で働く介護職員にとって重荷となっている奨学金の返還を、区独自の事業を立ち上げ支援せよ。

保健福祉政策部長 区独自の制度の必要性も含め方策を検討していく。狭あい道路解消に向けた条例制定

質問 杉並区では狭あい道路後退用地への支障物の設置禁止や除却命令の実施などを盛り込んだ条例を制定し、拡幅事業を円滑に進めている。区も条例制定に着手せよ。

防災・危機管理部長 杉並区へ状況を聞き、条例の効果や課題を確認する。電気自動車の充電設備の設置拡大

質問 脱炭素社会の実現には、CO2総排出量のうち17%もの割合を占める運輸部門での取組が不可欠だ。電気自動車の普及に向け、公共施設への充電設備の設置を進めよ。

環境政策部長 まずは5年度に1か所設置し、順次施設を選定する。女性デジタル人材育成の加速化

質問 コロナ禍で厳しい状況にある女性の就業や所得向上への支援が急務だ。経済団体や大学と連携し、デジタルスキル習得を目指す女性へのリスキリングを推進せよ。

経済産業部長 活躍の幅を広げる時代に即した支援の充実を図る。プレコンセプションケアの推進

質問 女性やカップルが将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合うプレコンセプションケアは、次代の子の健康増進にもつながる。妊娠期面接などを通じ啓発せよ。

保健所長 ネットワーク面接やぶれパママ講座などで周知していく。き、条例の効果や課題を確認する。



公明党世田谷区議団
津上 仁志



せたがやベイによる物価高騰対策

質問 セタがやベイポイント還元キャンペーンは物価高騰対策として大変好評であったが、短期で終了した。区民生活がいまだ厳しい中、恒常的な事業として実施せよ。

経済産業部長 継続的に中小個店へ消費を誘導する施策を検討する。学校給食費の完全無償化の実現

質問 我が党は、教育費における保護者への負担軽減として給食費完全無償化を求めてきた。今こそ区長は5年度実施に向け決断せよ。

区長 5年度に何らかの方法で実現できるよう検討を進めている。高齢者住宅確保策の更なる推進

質問 高齢化が進む中、住宅確保要配慮者は今後より増えることが懸念される。新たな高齢者住宅の確保や家賃助成の実施など、積極的に住まいの確保策を推進せよ。

副区長 区営住宅の単身者戸数を増やすなど様々な手法で進める。私立幼稚園教諭への支援策の拡充

質問 私立幼稚園教諭はサービス残業が常態化するなど労働環境が厳しい。区は人材の確保定着に向け家賃の全額又は一部を補助する宿舍借り上げ支援事業を実施せよ。

子ども・若者部長 国や都の動向なども踏まえ人材確保支援を検討する。区独自の介護職員奨学金返還事業

質問 介護職への希望者を増やすためには、処遇の改善が急務だ。低賃金で働く介護職員にとって重荷となっている奨学金の返還を、区独自の事業を立ち上げ支援せよ。

保健福祉政策部長 区独自の制度の必要性も含め方策を検討していく。狭あい道路解消に向けた条例制定

質問 杉並区では狭あい道路後退用地への支障物の設置禁止や除却命令の実施などを盛り込んだ条例を制定し、拡幅事業を円滑に進めている。区も条例制定に着手せよ。

防災・危機管理部長 杉並区へ状況を聞き、条例の効果や課題を確認する。電気自動車の充電設備の設置拡大

質問 脱炭素社会の実現には、CO2総排出量のうち17%もの割合を占める運輸部門での取組が不可欠だ。電気自動車の普及に向け、公共施設への充電設備の設置を進めよ。

環境政策部長 まずは5年度に1か所設置し、順次施設を選定する。女性デジタル人材育成の加速化

質問 コロナ禍で厳しい状況にある女性の就業や所得向上への支援が急務だ。経済団体や大学と連携し、デジタルスキル習得を目指す女性へのリスキリングを推進せよ。

経済産業部長 活躍の幅を広げる時代に即した支援の充実を図る。プレコンセプションケアの推進

質問 女性やカップルが将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合うプレコンセプションケアは、次代の子の健康増進にもつながる。妊娠期面接などを通じ啓発せよ。

保健所長 ネットワーク面接やぶれパママ講座などで周知していく。き、条例の効果や課題を確認する。



本文中で使用している省略表記
環境リノベ事業
＝環境配慮型住宅リノベ
ーション推進事業



世田谷立憲民主党区議団
桜井 純子



労働報酬下限額の着実な引上げ

質問 公契約における労働報酬下限額の引上げは企業の労働者確保と定着につながるとともに、区内産業全体の賃金底上げにも効果がある。5年度も着実に引き上げよ。

財務部長 引上げの効果や財政状況なども考慮し適切に対応する。学校給食費の完全無償化の実現

質問 子どもの権利に関する政策は支援対象を限定せず公平に実施すべきだ。区は所得制限を設けない学校給食費の無償化を実現せよ。

区長 5年度に何らかの方法で実現するよう検討している。インクルーシブ教育実現への決意

質問 国連は日本政府に対して障害の有無で子どもを分ける分離教育の解消などを勧告した。これを踏まえ、インクルーシブ教育の実現に向けた教育長の決意を示せ。

教育長 全ての子どもが共に学び、共に育つ環境の実現に尽力する。生活困窮する高校生世代への支援

質問 区では生活困窮世帯の中学生への支援拡充が進む一方、高校生世代への支援策は乏しい。切れ目のない支援を早期に展開せよ。

子ども・若者部長 5年度実施予定の実態調査の結果を踏まえ検討する。障害当事者の区政への参加の保障

質問 誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現には、障害当事者の参加を保障した計画策定や施策立案が不可欠だ。さらなる当事者の区政参加の徹底を求める。

副区長 当事者参加が進むように課題などを整理しながら検討する。環境に優しいまちづくりの推進

質問 北鳥山7丁目緑地の公園計画では、脱炭素に資する自転車の走行環境の推進モデルとするなど、気候変動対策の視点を持ったまちづくり政策に取り組め。

みどり33推進部長 モデルとなる豊かな空間の実現に向けて検討する。職員の主体性を生かしたDX推進

質問 民間企業では若手職員の提案を積極的に取り入れることでDX推進に成功した例がある。区では職員が主体的にDX推進に取り組める環境を整えているのか。

DX推進担当部長 挑戦できる環境づくりに向け支援や育成を推進する。DXによる区財政の見える化

質問 区が進める決算書などのデジタル化は冊子を画像化しただけであり、データとして活用できない。DX推進に合わせ改善せよ。

政策経営部長 財政の見える化の段階的な導入に向け準備を進める。靈感商法被害に係る相談窓口設置

質問 旧統一教会による靈感商法の被害は深刻だ。私も被害者家族の一人だが、誰にも相談できずにいる被害者を救済するため、区は相談窓口を設置し区民に周知せよ。

経済産業部長 消費生活センターで対応を強化し広報紙で周知する。学校給食費完全無償化の実現

質問 急激な物価高騰を踏まえ、子育て家庭への支援を強化すべきだ。区長は5年度に給食費の完全無償化を目指すとの認識で答弁したが、実現するとの認識で良いか。

区長 実現に向け検討しており具体的に予算編成の中で判断する。世田谷ナンバーに対する区民の声



無所属世田谷区民10番 維新
田中 優子



職員の主体性を生かしたDX推進

質問 民間企業では若手職員の提案を積極的に取り入れることでDX推進に成功した例がある。区では職員が主体的にDX推進に取り組める環境を整えているのか。

DX推進担当部長 挑戦できる環境づくりに向け支援や育成を推進する。DXによる区財政の見える化

質問 区が進める決算書などのデジタル化は冊子を画像化しただけであり、データとして活用できない。DX推進に合わせ改善せよ。

政策経営部長 財政の見える化の段階的な導入に向け準備を進める。靈感商法被害に係る相談窓口設置

質問 旧統一教会による靈感商法の被害は深刻だ。私も被害者家族の一人だが、誰にも相談できずにいる被害者を救済するため、区は相談窓口を設置し区民に周知せよ。

経済産業部長 消費生活センターで対応を強化し広報紙で周知する。学校給食費完全無償化の実現

質問 急激な物価高騰を踏まえ、子育て家庭への支援を強化すべきだ。区長は5年度に給食費の完全無償化を目指すとの認識で答弁したが、実現するとの認識で良いか。

区長 実現に向け検討しており具体的に予算編成の中で判断する。世田谷ナンバーに対する区民の声

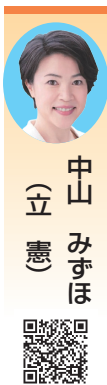
質問 不適切なアンケートを基に導入された世田谷ナンバーについて区に多くの意見が届いていると聞く。どのような意見が多いのか。

経済産業部長 17件中17件が廃止を求めるなどの反対意見である。世田谷ナンバー廃止の決断

質問 世田谷ナンバー導入時の住民アンケートは不適切だと裁判所が認定しており、区民ニーズを反映していない。区長はまず区民に謝罪し、廃止を決断せよ。

区長 廃止する理由は見当たらず謝罪の必要があるとは思わない。

11月29日及び30日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



中山 みずほ
(立憲)

理由を問わない一時預かりの実施

質問 在宅子育て家庭への支援を一層強化すべきだ。特に要望の多いゼロ歳児の理由を問わない一時預かりを区民に身近な子育て支援拠点である認可保育園で実施せよ。

回答 子育て支援の充実に向け、認可保育園での実施を検討する。

デザイン思考での政策形成

質問 政策形成は前例にとらわれず利用者満足度の最大化を目指すデザイン思考で取り組むべきだ。DXを進める上で特に重要なこの視点をどう庁内に浸透させるのか。

回答 DX人材育成に係るプロジェクトチームなどを活用する。

子どもが通いたくなる学校づくり

質問 学校が抱える不登校などの問題を解決するには子どもの視点に立つて支援策を考えることが必要だ。区長は子どもが通いたくなる学校づくりにどう取り組むのか。

回答 現状の教育にとらわれない特別校の設置などを検討している。



佐藤 美樹
(あらた)

オープンデータ公開方法の見直し

質問 区が公開しているオープンデータには二次利用できない形式のものが散見される。官民連携による行政サービスの拡充を見据え利用しやすい公開方法を検討せよ。

回答 誰もが使えやすいオープンデータの公開に向けて検討する。

教員が気軽に相談できる場の充実

質問 多忙な教員が不登校の子どもや保護者と丁寧に向き合うには心に余裕を持ち前向きな気持ちでいることが大切だ。教員が気軽に悩みなどを相談できる場を整えよ。

回答 相談事業の更なる周知など悩みを抱える教員の支援に努める。

子どもの権利や最善の利益の保障

質問 親権に係る法改正が昨今議論されており、今後子どもの権利や最善の利益がより重要視される。



真鍋 よしゆき
(自民)

子どもが意見を表明できる場の拡充などを子ども条例に位置づけよ。

回答 最善の利益を第一に子どもの権利の具体化に向けて議論する。

道路整備推進に向けた区長の姿勢

質問 進捗が滞る下北沢駅周辺や恵泉通りの用地取得の交渉に関し、区長はさきの議会で整備完了に向け自らの行動も含め取り組む決意だと答えた。その後の対応を示せ。

回答 区長の指示で副区長や技監も地権者との面談に当たっている。

都市整備基金を活用した道路整備

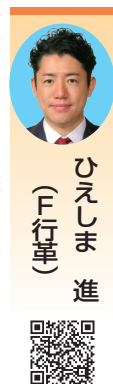
質問 区民の困り事の1位は狭くて危険な道路だ。国から無償移管を受けた畔畔を道路区域に編入する規定を整備するとともに、基金を活用して道路拡幅事業を進めよ。

回答 ルール作りや財源確保策などを取りまとめ基盤整備を進める。

社会情勢を踏まえた契約の在り方

質問 今般の物価高騰や資材不足が公共事業に大きな影響を与えている。受注者からの契約スケジュールの前倒しや市場価格の変動に柔軟に対応するなど迅速に対応せよ。

回答 工期などの変更にも柔軟に対応し、受注しやすい体制を整える。



ひえしま 進
(F行革)

給食における黙食の廃止

質問 コロナ禍で飛沫防止のため給食中に会話を控える黙食が子どもの心身に与える悪影響は計り知れない。他自治体での緩和の例も踏まえ区は早急に黙食を廃止せよ。

回答 黙食の見直しも含め、状況に応じて適切な対応を検討する。

動物愛護の取組へのファンド創設

質問 区はふるさと納税の返礼品拡充を表明したが税金で行う施策としては検討が不十分だ。納税者の関心が高い動物愛護推進に向けたファンドを創設し寄附を募れ。

回答 獣医師会やNPOなどと課題整理を行い、今後検討していく。

公務と政務を混同した区長の判断

質問 区長が政務で参加すべき都民ファーストの会の政治資金パーティーに、副区長を代理出席させた行為は公務との混同だ。代理なら秘書が出席すべきではないのか。

回答 都や都知事との円滑な関係づくりも踏まえ副区長が出席した。



桃野 芳文
(F行革)

イベントで生じた収益の取扱い

質問 区が給付金を支給した際、誤った税法上の取扱いを受給者に案内した事実があった。区の様々なイベントにおける収益についてはこうした税法上の誤りはないか。

回答 専門家に確認中であり、税務署へも相談し適切に対応する。

区の税務申告漏れへの区長見解

質問 たまがわ花火大会の事業収益に対し、正しく税務申告していない事実がさきの質問で判明した。これは大変な不祥事であり、区長から反省や謝罪の弁はないのか。

回答 申告しなかった点は極めて不適切で反省すべきと感じている。

困窮する若者への奨学金支援

質問 区は経済的な理由で進学できない若者への給付型奨学金の検討に3年かけると言うが、その間も若者の学びの機会が失われている。区長は早期開始を所管に指示せよ。

回答 物価高騰など経済的影響を捉え支援を加速するよう指示する。



福田 たえ美
(公明)

兵庫島公園のトイレの早期改善

質問 区民のにぎわいの場である兵庫島公園は元年の台風被害を受けてから簡易トイレしかなく不満の声を聞く。バリアフリー対応で快適なトイレを早期に再整備せよ。

回答 ユニバーサルデザインに対応したトイレの早期再建に努める。

補聴器の購入費助成制度の導入

質問 高額な医療機器である補聴器の購入費用は医療費控除の対象となっていないが、控除が適用され

ない非課税世帯には恩恵がない。区独自に補助制度を導入せよ。

回答 高齢者ニーズ調査の結果を踏まえ、必要性などを議論する。

書かない行政窓口の実現

質問 北見市では窓口のデジタル化で住民は申請書を詳細に書かずともワンストップで様々なサービスを受けられる。高齢者や障害者の負担軽減に向け区でも実現せよ。

回答 複数申請の際に氏名や住所が一括印字される方法を検討する。



神尾 りさ
(国際)

心豊かな暮らしを目指す区政運営

質問 区民の心豊かな暮らしの実現に向け、暮らしやすさや幸福感を数値化したLWC指標を区政運営に生かすべきだ。次期基本計画に反映すべく活用方法を検討せよ。

回答 指標を研究する先行自治体の例も参考に更なる検討を進める。

地域の特徴を引き出すまちづくり

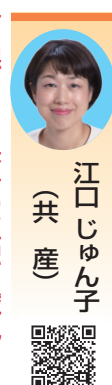
質問 区は再開発がない地域でも住民主体のまちづくりに伴走すべきだ。二子玉川の例に倣い民間活用などの手法を模索し、地域の特徴を引き出せる取組を支援せよ。

回答 勉強会などを通じ住民主体の特徴あるまちづくりを展開する。

子どもの感性を育む文化施策

質問 区共催のキネコ国際映画祭は子どもが他国文化を学ぶ重要な機会だ。不安定な世界情勢で国際交流が困難な今、区は同イベントを含め文化施策を更に推進せよ。

回答 多彩な事業を通じ、文化や芸術に親しむ機会の充実に努める。



江口 じゅん子
(共産)

高過ぎる国保料の区独自減免を

質問 国保料軽減を求める世論の中、子育て世帯の減免を求めている。国による未就学児の減免が実現した今、諸課題を解決した上で区独自に未就学児以降の減免を。

回答 改めて解決のための課題整理と庁内検討を進める。

不登校児の早急な居場所整備を

質問 保護者よりほっとスクールでの受入を断られたとの相談があるなど不登校児の受皿不足は深刻。実態を把握し、ほっとスクール増設や居場所確保に早急に着手せよ。

回答 4年度中に実態調査を実施した上で居場所の確保に着手する。

精神障害者手帳2級の方へ手当を

質問 精神障害者や家族会から手帳2級保持者への心身障害者福祉手当支給の要望がある。区の苦情審査会から制度改善が示されたことを受け止め、早期手当支給を。

回答 当事者や家族会からの意見を踏まえ、制度の改善を検討する。



菅沼 つとむ
(自民)

将来を見据えた広域跡地の活用

質問 上野賀一丁目の国立医薬品食品衛生研究所の解体工事が終われば約3haもの広大な跡地が残る。地区計画に沿い、避難所機能をはじめ将来を見据えた活用を目指せ。

回答 地区計画を踏まえ区として必要な公的利用の検討を進める。

新BOPP時間延長の職員への対応

質問 区は新BOPP学童クラブの時間延長を進めるに当たり職員の勤務体制にも留意すべきだ。育児など家庭の事情で19時までの勤務が困難な職員へどう対応するのか。

回答 延長時間帯に配置しないなど職員に配慮した運営体制を組む。

総合運動場陸上競技場の人工芝化

質問 区の総合運動場陸上競技場の利用率向上や競技種目の拡大に向け、水はけがよく雨天時を含め年中使える人工芝を導入すべきだ。

回答 区は5年度予算に経費を計上せよ。

改善のない図書館障害者サービス

質問 私の前回の質問から一年、区教委が守った答弁は対面朗読の再開など一部だけ。6つの答弁は



上川 あや
(虹)

放置した。教育長は区民への裏切りを猛省し改善への決意を示せ。

回答 スピード感を持つて対応し、利用者の最善の利益を目指す。

縦割り排し点訳ニーズに対処せよ

質問 点字図書給付の担当部は、区民ボランティア任せの図書点訳を知らず同ボランティアへの支援を打ち切った区教委も同給付を理解しておらず酷い。連携し善処を。

回答 関係所管で情報を共有し適切に案内できるよう整理検討する。

同性ペアへの処遇差、差別では？

質問 187の区立施設が37の指定管理者に管理されているが、区の外郭団体を除き殆どが同性カップルの職員処遇を平等とせず、差別の禁止規定もない。改善策を講じよ。

回答 指定管理者制度運用に係るガイドラインで具体的に定める。



藤井 まな
(立憲)

職種別労働報酬下限額の導入

質問 厳しい区民生活の支援には、賃上げこそが最良の方策だ。区の労働報酬下限額を100円から120円に引き上げるとともに介護職や看護師など職種別の下限額を導入せよ。

回答 労働報酬専門部会からの意見書や財政状況を考慮し対応する。

带状疱疹ワクチンの接種費用助成

質問 予防医療の推進は、区民の健康増進はもとより医療費抑制による区財政の健全化にもつながる。区は治療に高額な医療費がかかる带状疱疹の予防接種費用を助成せよ。

回答 国や都の動向を注視しながら今後の区の対応を検討していく。

特別支援教室利用者の不安解消

質問 都の特別支援教室に係るガイドラインにある「原則の指導期間1年」との記載に保護者は不安を感じている。場合により延長可能な実態に合わせ訂正を求めよ。

回答 実際の運営で分かった課題などを都に伝えて改善を要望する。



問 質 般 一



青空 こうじ
(無所属)



クアマネジャーへの条例の周知

質問 区民意識調査によると認知症に係る条例の認知度が非常に低い。まずは認知症者や家族と接する機会が多いクアマネジャーに存在を知ってもらうよう周知せよ。

答弁 条例や計画を伝える機会を設けるなど更なる啓発に努める。

区の特徴を生かした観光施策

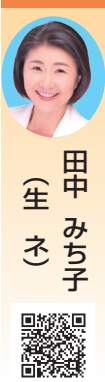
質問 区内観光の活性化に向けた施策を充実すべきだ。観光名所の浅草に似、文化芸術が盛んな下北沢と三軒茶屋を結ぶ茶沢通りにゆかりの著名人の手形を設置せよ。

答弁 文化財団と連携し文化芸術の魅力を一層高める取組を進める。

ポスターを活用した劇場のPR

質問 世田谷パブリックシアターは開場25周年を迎えたが、いまだ存在を知らない区民は多い。歴代の公演ポスターをのぼりにして通りや目立つ場所に掲示しPRせよ。

答弁 ポスター掲示も含め文化財団と効果的なPR手法を検討する。



田中 みち子
(生 ネ)



ACPの実践に向けた普及啓発

質問 私は父親をみとった経験から、患者が希望する医療やケアを事前に家族などと話し合うACPの推進を求めてきた。認知度が低い現状を踏まえ普及啓発に努めよ。

答弁 介護事業者や区民向けの講習会などを通じ周知啓発に努める。

地域で子どもを守る体制の強化

質問 区が私の提案を受け、困難を抱える子どもへの早期支援に向けて砧地域の要保護児童支援協議会に子ども食堂を加えたことを評価する。全地域での参画を進めよ。

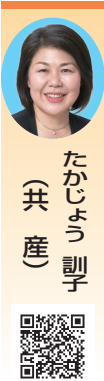
答弁 協議会の役割などを丁寧に説明し他の地域での参画を進める。

ヤングケアラーへの確実な支援

質問 区は小学5年と中学2年を対象に面接を実施しているが、家族のケアをする子どもの切なる声

に寄り添えていない。再度丁寧にやり直し、確実に支援につなげよ。

答弁 相談しやすい環境づくりや教員などの支援の質の向上を図る。



たかしょう 隼子
(共 産)



インボイス未登録事業者への対応

質問 個人事業主に実質的な増税を迫るインボイス制度が2023年10月に導入予定だ。中小企業を守る観点から、区の契約においては制度の登録の有無を問わず平等に扱え。

答弁 未登録事業者を排除することなく公正かつ適正な発注を行う。

代替の集施設確保の早期検討

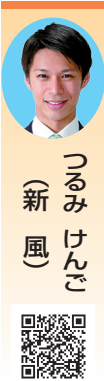
質問 区は北島山地区会館廃止に伴う利用者との意見交換会において、30人規模が集える代替の集施設を求める声に対し、検討すると答えた。早期に検討を進めよ。

答弁 周辺のまちづくりの進展を捉え、集施設確保を検討する。

低所得の課税世帯への支援拡充

質問 区は物価高騰を踏まえ住民税非課税世帯に現金給付を行ってきたが、対象外の低所得世帯からも光熱費が払えないなどの切実な声を聞く。支援の対象を拡充せよ。

答弁 国や都の補助金などを最大限使い、時期を逸さず判断する。



つるみ けい
(新 風)



窓口サービス向上への道筋

質問 地域行政推進条例の制定により、区は地区におけるワンストップ窓口やたらい回しゼロの実現に取り組まなければならない。今後の具体的なスケジュールを示せ。

答弁 モデル実施後、6年度からオンライン相談を全地区展開する。

認知症損害賠償補償制度の導入

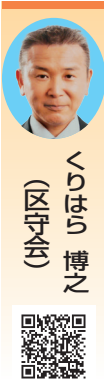
質問 私が実施を求めてきた認知症損害賠償補償制度について認知症施策評価委員会での議論が終了したと聞く。これを踏まえ区はいつまでに導入可否を判断するのか。

答弁 区としての見解の取りまとめを急ぎ検討し速やかに判断する。

区立校での平等な教育機会の確保

質問 子どもが興味や関心を抱いた分野に打ち込める環境づくりは重要だ。区長は特別校の設置で実現を図ろうとしているが、全校で取り組める方策はないのか。

答弁 国が5年度から実施予定の研究事業の活用などを検討する。



くりはら 博之
(区 守 会)



郵便によるNHKの悪質な集金

質問 NHKは宛名なしで郵便物を送れる特別あて所配達郵便による受信料徴収を始めた。郵便物が届いて混乱する区民に対し、契約は義務でない旨を丁寧に説明せよ。

答弁 相談があった際は相談者に寄り添った親身な対応をしている。

単身高齢者の孤立や孤独防止策

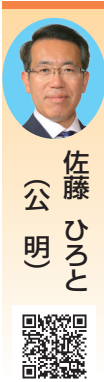
質問 単身高齢者が地域社会から孤立し、周囲に助けを求められずに自宅で孤独死する痛ましい事態が起きている。区は未然防止に向け、どのような対策を講じるのか。

答弁 安心コールなど4つの事業を中心に見守り施策を進めていく。

凶悪事件の解決に向けた取組

質問 世田谷一家4人強盗殺人事件の発生から22年が経過する。安全安心なまちづくりを目指す区として、事件を決して風化させない覚悟で解決に向けて力を尽くせ。

答弁 警察と連携しながら、解決に向けた支援を積極的に展開する。



佐藤 ひろと
(公 明)



避難所での二次的防災の備え

質問 災害時の停電に備え、避難所や公共施設での電力確保策を強化すべきだ。安全で長期保管が可能なLPガスを利用した発電システムの導入を早急に検討せよ。

答弁 様々な手法を比較して最善の選択となるよう検討を急ぐ。

区立小学校での動物飼育の促進

質問 動物飼育は情操教育に有効だが、適切な飼育環境の維持などがハードルとなり半数の区立小で

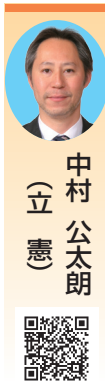
は未実施だ。全校実施に向け諸課題への対応を踏まえた指針を示せ。

答弁 各校の飼育環境や飼育体制の実態を把握し取扱いを検討する。

土砂災害特別警戒区域の解消へ

質問 大蔵4丁目在住者から自宅裏の斜面が土砂災害特別警戒区域に指定されており自宅を改築できないと相談を受けた。当該地の指定解消に向けて保護対策を講じよ。

答弁 まずは斜面の簡易調査や測量に着手し対策が可能か検討する。



中村 公太郎
(立 憲)



都補助金の不正受給の経緯

質問 今般発生した区内スポーツ団体による都補助金の不正受給は、支給の窓口である外郭団体と管理すべき区にも相当の責任があり、猛省すべきだ。詳細な経緯を示せ。

答弁 領収書を偽造し実際の支出よりも多く補助金を受給していた。

活用可能な区有地の周知

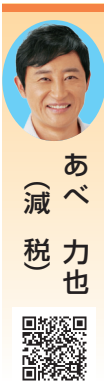
質問 更なる税外収入確保に向け、区有地の活用を希望する事業者への周知を工夫すべきだ。土地の広さなどの詳細な情報を一覧にまとめ、区のサイトで常時公開せよ。

答弁 5年度の現況調査の結果に基づき未利用区有地を公表予定だ。

スライド条項における柔軟な対応

質問 物価の急変動により建設工事の契約金額を変更できるスライド条項は、残工期2か月以上が適用要件だ。厳しい経済状況に鑑み、要件を満たさずとも適用せよ。

答弁 指摘の点を踏まえあらゆる機会を通じて様々な検討をしたい。



あべ 力也
(減 税)



公職選挙法違反区議への罰則は？

質問 現職区議が単独氏名記載ののぼり旗を掲げ街頭で政治活動を行っていたが、これは公職選挙法で禁止されているはずだ。違反者への詳細な罰則内容を示せ。

答弁 禁固2年以下又は罰金50万円以下、公民権停止の対象になる。

障害児への差別をゆるさない！

質問 区立校の教員などがダウン症の子どもをダウンちゃんと呼んでいる実態を保護者から聞いた。差別用語であり許されないこの状況に対し、教育長の見解を示せ。

答弁 あつてはならないことであり、当事者や保護者に深くお詫言する。

区立園入退園申請を両親に！

質問 区立園では父母どちらかの申請で入退園が可能であり、別居中の家庭などでは子どもの連れ去り問題の原因となっている。両親双方の意思確認を申請条件とせよ。

答弁 子どもの最善の利益を確保するため申請の在り方を検討する。



そべ せい
(都 福 友)



不平等なおむつ支給の見直し

質問 区は高齢者には広く紙おむつを支給しているが子どもは認可園に通うゼロ歳児にのみ支給している。育児負担となり出生数減にもつながるこの不公平を見直し。

答弁 対象者の公平性などを踏まえ福祉政策全体で慎重に検討する。

効果が不透明な慶祝事業の見直し

質問 外出による買物が困難な高齢者が増える中、88歳と100歳の方に区内共通商品券を贈る慶祝事業には必要性がなく税金をばらまいているだけだ。事業内容を見直せ。

答弁 社会情勢や財源などを考慮し見直しの内容や時期を検討する。

保育園入園相談のオンライン実施

質問 区の保育園入園の相談は開庁時間帯に対面で行うため育児中の母親が来庁せざるを得ない。働く父親も参加できるよう平日夜間を含めたオンライン相談を実施せよ。

答弁 モデル実施する他のオンライン相談の状況を見て検討する。



羽田 圭一
(立 憲)



区役所で働く個人事業主の保護

質問 区史編さん委員など区と法律上の任用関係にない方が安心して働ける環境を整備すべきだ。正

規職員と同様にハラスメント相談などを受けられる仕組みをつくれ。

答弁 フリーランス保護に係る国の動向を注視し対応を検討する。

生活騒音問題の未然防止策

質問 住宅の工口化に伴い一般家庭が設置した省エネ機器を原因とする騒音問題の増加が懸念される。静穏な生活環境を守るため区の環境基本計画に未然防止策を定めよ。

答弁 5年度からの計画の見直しに合わせ関係所管で議論を深める。

教員の労働環境改善への区の認識

質問 私は区に教員の中途退職や病気休職の増加への対策を求めた。区は再三、心のケアや教員同士の交流などを充実すると答弁している。その対応で効果はあるのか。

答弁 学校への支援や業務の見直しを通じ教育環境の改善に努める。



和田 ひでとし
(自 民)



不登校の子どもの受入体制拡充

質問 不登校特別校やほととスクールは学校復帰や社会的自立を目指す子どもへの受皿として重要な役割を担っている。利用が増える中、受入体制をどう拡充するのか。

答弁 既存施設の活用も視野に新たな分教室などの整備を検討する。

子どもの成長に資する道徳教育

質問 いじめを未然に防ぐには、相手の立場を考え思いやる心の醸成が重要だ。道徳が教科化された今、区立校では道徳教育を子どもの成長にどう結びつけていくのか。

答弁 物事を広い視野で多角的に考えられる子の育成に努めている。

開かずの踏切解消に向けた調査

質問 目黒区は自由が丘駅周辺の東横線と大井町線の連続立体化に向けた調査を継続する方針だ。当区も同路線の開かずの踏切解消に向け、5年度より調査を始めよ。

答弁 目黒区と協議し調査費を精査するなど5年度以降実施したい。



問 質 一 般



いそだ 久美子
(立 憲)



都市農業の積極的な振興

質問 2022年からの生産緑地指定の解除開始以降、売却による農地の減少が懸念されている。区民農園の人氣が高い現状を踏まえ、区の農地保全に向けた方策を示せ。

答弁 取得した農福連携事業に係る農地などを生かし保全に努める。

子どもの意見に応える責務

質問 池尻小の校庭改修に際し児童から区宛てに28通もの意見や要望が寄せられた。区は保護者を通じてではなく、自分の意見をしっかりと表明した児童へ直接回答せよ。

答弁 工事の詳細をお知らせする区からのお便りの発行を検討中だ。

制服サイクルの促進策

質問 区立中の制服購入による家庭の負担を軽減すべきだ。学校ホームページに専用サイトを設け当事者間での制服譲渡を促すなど効果的なリサイクルの仕組みを築け。

答弁 保護者のSNSを活用したリサイクルの例を学校に紹介する。



高岡 じゅんぺい
(生 ネ)



樹木の病害虫被害に係る注意喚起

質問 みどり率向上を目指す区は、樹木の保全に向け区民が病害虫被害を早期発見できる仕組みを築くべきだ。公園の樹木に対処法を記した看板を置くなど注意喚起せよ。

答弁 身近な公園緑地への啓発看板の設置などを検討していく。

環境リノベ事業の活用

質問 CO₂排出量削減に向け住宅の省エネ化を支援する環境リノベ事業を一層推進すべきだ。区民の活用が進むよう分かりやすい名称や内容に見直すなど事業を刷新せよ。

答弁 補助率の引上げなどにより使いやすい制度となるよう検討する。

子どもが意見表明できる場の創出

質問 地域課題の解決には次代を担う子どもの声も生かすことが重要だ。タウンミーティングへの参

加機会を設けるなど、地域で大人と意見交換できる場を創出せよ。

答弁 様々な機会を捉えて子どもの意見を聞きまわづくりを進める。



ひうち ゆう子
(世田谷)



自転車の取締りの強化

質問 自転車事故の多発を受け、警視庁は悪質な自転車利用者へ刑罰を科すなど取締りを強化した。区内の事故削減に向け、交通ルールの啓発を警察と連携して行え。

答弁 事故の削減に向けた啓発などを警察と連携して進める。

電動キックボードの交通安全対策

質問 電動キックボードのマナー問題が顕在化する現状を踏まえ、安全対策の強化やホームページでのルール啓発を強化すべきだ。現在の進捗状況と今後の対応を示せ。

答弁 ホームページに新たに記事を載せており今後も啓発に努める。

マイナ保険証の導入状況について

質問 国は2024年に健康保険証を廃止しマイナンバーカードと一体化する方針だ。区民の方がマイナ保険証を確実に使用できるよう利用環境の整備等の状況を伺う。

答弁 国の責任で環境整備を図るよう機会を捉え要望していく。



小泉 たまみ
(新 風)



区民をお待たせしない窓口の実現

質問 窓口混雑の解消こそが、地域に身近なまちづくりセンターの信頼感の向上につながる。マイナンバーカードの手続が行えるセンター数を計画よりも倍増せよ。

答弁 課題を整理し適切かつ迅速な窓口対応ができるよう準備する。

窓口混雑の全面解消に向けた取組

質問 区は窓口混雑の全面解消を進めると表明したが、実現に向けた具体的な行動が不明確だ。全国から世田谷に転入される方々への情報提供を含めどう取り組むのか。

答弁 電話受付方法の改善など5つの当面の目標を設定し取り組む。

多様な区政課題への責任の所在

質問 区が抱える課題は多岐にわたり、区長一人で判断できるものではない。各課題の解決に当たり誰がリーダーシップを取りどのよう

答弁 副区長と教育長が各領域を統括し区長が最終的な責任を負う。



穴戸 三郎
(自 民)



京王線連立事業に関する情報発信

質問 京王線連立事業の工期延長により沿線住民の悲願である開かずの踏切解消は先送りとなった。住民生活への影響を踏まえ事業の詳細を分かりやすく広報せよ。

答弁 地域に分かりやすい情報発信手法を都や京王電鉄と協議する。

京王線利用者への丁寧な周知

質問 工事で仮駅舎が設置され改札口が上下線に分かれると、利用者によっては乗車の際に開かずの踏切を渡る必要が生じる事もある。区は工事内容を丁寧に周知せよ。

答弁 沿線住民や利用者への確かな情報を適宜発信するよう努める。

京王線のバリアフリー化の推進

質問 京王線にはエレベーターなどのバリアフリー設備が不十分な駅が多い。誰もが安全に利用できるよう、地域住民の声を聞きながら連立事業の中で確実に整備せよ。

答弁 要望を京王電鉄に伝え、誰もが利用しやすい駅を目指す。



金井 えり子
(生 ネ)



介護保険制度改定に伴う区の対応

質問 2024年の介護保険制度改定で、要介護1・2の方の訪問介護などが区の事業に移行されれば、約1万5000人もの対象者の受皿を十分確保できない。国に見直しを求めよ。

答弁 必要に応じて全国市長会などを通じた働きかけを行っていく。

放射性物質検査の縮小後の対応

質問 区は福島原発事故を受け行ってきた食品の放射性物質検査を縮小する。区民の安全安心の点

から検査の精度は維持されると聞くが、今後どう対応するのか。

答弁 不測の事態の際は、早急に検査体制を拡充できるように努める。

区立校で行う空気検査の改善

質問 アレルギーや化学物質過敏症に悩む子どもがいる中、良好な学習環境を確保するには学校での空気検査の精度向上が大切だ。検査項目を拡充し定期的に測定せよ。

答弁 専門業者と相談し有用性を確認した上で実施可否を検討する。



中里 光夫
(共 産)



憲法と平和をめぐる問題について

質問 岸田政権の改憲、軍事費倍増は、大増税と戦争国家への道で、暮らしも平和も破壊する。9条を生かした平和外交が重要だ。憲法と平和への区長の認識を示せ。

答弁 憲法9条を守り、子どもたちに平和を願う思いを継承したい。

介護保険の改悪中止を

質問 次期介護保険制度改正で、利用者負担増や給付削減が狙われている。負担増は利用抑制につながり重症化、生活の質低下になる。区の認識を示し、国に中止求めよ。

答弁 制度改正に係る議論の状況に応じ国に必要な働きかけを行う。

小田急線跡地での交通安全対策

質問 小田急線跡地に整備したシモキタ雨庭広場は車道に囲まれた立地にあり区民から広場への出入りが怖いとの声を聞く。安全のため横断歩道設置など対策を講じよ。

答弁 地域の声を警察署に伝え、安全な交通環境の確保に取り組む。



石川 ナオミ
(自 民)



精神疾患のある方への支援の課題

質問 区は精神疾患のある方が安心して自分らしく生活ができる環境の整備を先進的に進めてきた。これまでの取組を通して、どのような課題が見えてきたのか。

答弁 障害者と住民が安心して暮らせる地域づくりが重要と考える。

地域共生社会の実現に向けた支援

質問 精神疾患のある方と住民の双方が安心して暮らせる地域を構築すべきだ。共生社会の実現に向け、障害当事者はもちろん地域住民に寄り添った支援に取り組め。

答弁 地域の声を受け止めながら、地域共生社会の構築を目指す。

ネットいじめの未然防止対策

質問 SNSなどの普及に伴い子ども間で急増している「ネットいじめ」への対応が急務だ。通報アプリを導入するなど未然防止と早期発見に向けた対策を講じよ。

答弁 子どもがネットいじめについて相談できる仕組みを検討する。



3年ぶりの開催となった「世田谷のポロ市」



インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページでライブ配信しています。ライブ映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像としてご覧いただけます。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。インターネット議会中継は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもご利用いただけますので、臨場感あふれる映像をぜひご覧ください。



こちらの二次元コードからもアクセスいただけます！



